

戸田 浩二 Toda Koji

1974年 愛媛県西条市生まれ
1996年 筑波大学体育専門学群 卒業
2002年 茨城県笠間市に薪窯を築く
2010年 祥雲(銀座)(2015、2019)
2011年 アートフェア東京(2013、2017)
2012年 東美アートフェア(2014、2019)
2013年 思文閣(京都)
2016年 メイフェアールアン財団(タイ)(2017)
2017年 LIXILギャラリー「-聖水-」(京橋)
MIKA GALLERY(NY)
2019年 「土と抽象」記憶が形に生まれるとき(益子陶芸美術館)
2020年 アート玄羅(金沢)

NY・東京を中心に毎年個展・グループ展を開催

〈収蔵美術館〉

プリンストン大学美術館(USA)

デトロイト美術館(USA)

イェール大学美術館(USA)

茨城県陶芸美術館

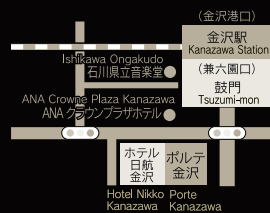
2020年

9月5日(土)~22日(火) 12:00~17:00(水・木曜休廊)

作家在廊日:9月5日(土)・6日(日)

《作品内容》

薪窯による焼締の水瓶や瓶子、香炉など約20点を展示いたします。



アート
玄 羅
g e n
r a

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ボルテ金沢3F [ホテル日航金沢横]
TEL/FAX 076-255-0988 E-mail genraart@ozzio.jp

Web <http://genraart.com>



玄羅アート

国の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿い、鑑賞環境には十分に気をつけてまいります。
会期中、時短営業、臨時休業、入廊制限する場合がございます。

表紙 / 焼締水瓶 [高さ20cm]

祈りのかたち

Form of prayer

戸田 浩二展



アート
玄 羅
g e n
r a

古代から続く
美しいものが醸し出す姿に
憧れを感じて、
その存在感に見えないものへの
祈りを感じます。
今、この瞬間に静かで
緊張感のあるものを
自分なりに表現したいと
思っています。

戸田浩二



焼締水瓶 [高≒20cm]



焼締瓶子 [高≒26cm]

奈良法隆寺の「木造百済観音」の魅力は、その水瓶を待つ指の美しさにある。水瓶には浄化され、霊性を帯びた聖水が入っている。しかし、親指と中指に挟まれた水瓶は、じつに軽やかである。この水瓶の玉子形の胴と細い首の微妙なバランスを表現するには、かなり高度な技術を要する。戸田の焼締陶は、金属器のように薄く、美しいフォルムを形成している。しかも、その質感は金属器よりも温かくやさしい。その理由は、自分で北茨城や桜川から採ってきた土にこだわって成形しているからだ。戸田は「古代から続く美しいものが醸し出す姿に憧れを感じて、その存在感に見えないものへの祈りを感じ

じます」という。作品の中には、聖水を受けやすいように口が大きく広がった水瓶や、聖水を貯えて肩が大きく膨らんだ瓶子がある。戸田の祈りのかたちは、単に外部の造形にある訳ではない。それは、内に貯えられた聖水によって生まれてくるのである。故に、清涼感に包まれ凜としているのだ。今展には、そうした新作の水瓶、瓶子、香炉など20点余が出品される。

森 孝一

美術評論家
日本陶磁協会常任理事